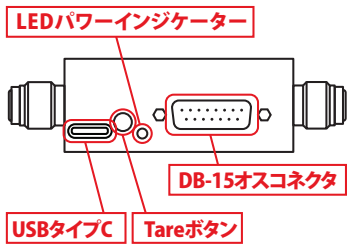
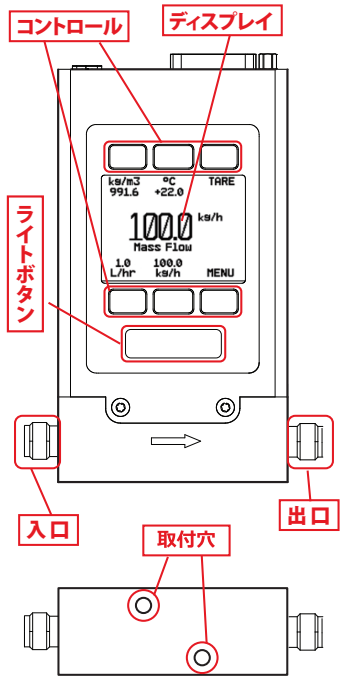
# CODA コリオリ式フローメーター
## クイックスタートガイド

Kシリーズ

A Halma company



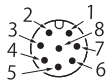




**DB-15 オス**




デバイス側

**8ピン M12 オス**




デバイス側

| DB-15 | M12 |
|---|---|
| 未使用 | アナログ出力0〜5Vdc<br>オプション：<br>（0〜10Vdc、4〜20mA） |
| 未使用 | 電源入力 |
| アナログ出力0〜5Vdc<br>オプション<br>（0〜10Vdc、4〜20mA） | RS-232 Rx<br>またはRS-485 B（+）<br>（デジタル通信） |
| 0〜5 Vdc密度出力<br>オプション<br>（0〜10Vdc、4〜20mA） | 風袋引き用GND |
| GND（アナログ出力） | RS-232 Tx<br>またはRS-485 A（−）<br>（デジタル通信） |
| 未使用 | 0〜5 Vdc密度出力<br>オプション：<br>（0〜10Vdc、4〜20mA） |
| 未使用 | GND（電源・デジタル通信） |
| 未使用 | GND（アナログ出力） |
| 電源入力 | — |
| GND（電源・デジタル通信） | — |
| GND（電源・デジタル通信） | — |
| 風袋引き用GND | — |
| GND（電源・デジタル通信） | — |
| RS-232 Tx<br>またはRS-485 A（−）<br>（デジタル通信） | — |
| RS-232 Rx<br>またはRS-485 B（+）<br>（デジタル通信） | — |

**ALICAT 製品サポートサイト**

▶ 取扱説明書・スペックシートのダウンロード https://alicat.jp

## ボックス内容▶

- CODAコリオリ式マスフローメーター本体
- NISTトレーサブル校正証明書
- オプションの付属品（ケーブル、電源アダプター、フィルター）

## ▼はじめに▼

### 1 設置



デバイスを設置します。流れの方向が本体に表示されている矢印と同じ方向であることを確認してください。本体の設置の向きは任意です。

### 2 電源



DB-15コネクタから電源を供給してください。電源は12～30Vdcが必要です。
電源が入ると緑のLEDが点灯します。

### 3 信号出力

ピン配列の詳細は表面をご覧ください

アナログ：0～5Vdcで信号出力可能（0～10Vdc、4～20mAも選択可能）

デジタル：USB-C・RS-232・RS-485・RS-232またはRS-485によるMODBUS RTU

### 4

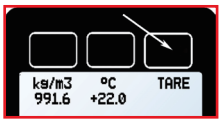
デバイスはすぐに使用可能ですが、測定精度を高めるため、使用前に15分以上のウォームアップ時間を設けてください。

### 5

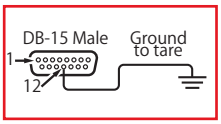
測定する流体をデバイスに流します。デバイス全体に流体を満たしてからご使用ください。

### 6 ゼロ（風袋引き）

ステップ5が完了したら、以下の3つの方法のいずれかで風袋引きを行います。




**ディスプレイ**
メイン画面でTAREボタンを押してください。




**アナログ**
GNDとピン12を最低1秒間短絡させます。（ピン配列の詳細は表面をご覧ください。）



**デジタル**
MODBUSやLabVIEWを含む、シリアル風袋引きオプションについては、完全なマニュアルをご覧ください。

ALICAT社 日本正規代理店
日本スターテクノ株式会社
j-startechno.com
TEL：0297-86-6688
受付時間　平日9:30～17:30